

# 場づくりのプロから学ぶ 多様な人を巻き込むファシリテーション講座

## ～協働を促す「問い」の立て方とは?～

Withコロナの時代、これまで以上に一組織や企業だけでは解決できない課題が生まれ、多様な人たちがともに考え、実践していくことが求められています。

それを実現するためには、多様な人を巻き込み、協働を促す対話の場をデザインする力（ファシリテーション力）が必要です。

今回は様々な地域で企業・NPO・市民・行政などによるクロスセクターの場づくり実戦経験を持つ対話のプロをお招きし、**多様な人を巻き込むために一番重要である「協働を促す問いの立て方」**について学んでいきます。

この講座を通じ、一緒に自分たちのプロジェクトをもっと面白くしていくために多様な人を巻き込むにはどういった「問い」を立てたらいいのか、そして様々なアイデアを引き出し協働アクションにつなげていくにはどうしたらいいのか、をオンラインワークショップ形式で考えていきます。

●日 時：下記の日程のうち、都合が良い日を選んでください。

① 7月2日（木）14時～16時

② 7月5日（日）14時～16時

③ 7月6日（月）19時～21時

●方 法：オンライン（Zoomを活用します） ●参加費：無料

●定 員：各回12人（定員を上回った場合は抽選とさせていただきます。）

●対 象：名城大学学生・教職員、共創に関心のある方など

### ◆講師プロフィール

Slow Innovation株式会社 プロジェクトマネージャー

加生健太郎氏

2016年から渋谷区の企業・NPO・市民・行政などのクロスセクターによるまちづくりプログラム「渋谷をつなげる30人」を運営し、ディレクターを務めている。2019年からはじまった「ナゴヤをつなげる30人」（名古屋市地域振興課）の企画運営、ディレクターも務め数多くの協働のための場のデザインやファシリテーションの経験を持つ。

※現在「ナゴヤをつなげる30人」第二期の参加者も募集中です。



主催：名城大学社会連携センターPLAT

協力：名古屋市スポーツ市民局地域振興課

問合せ先：社会連携センター山本・宮原

TEL：052-838-2473 E-mail：ccr@ccml.meijo-u.ac.jp



申込はこちら→

締切

6/29(月)まで

